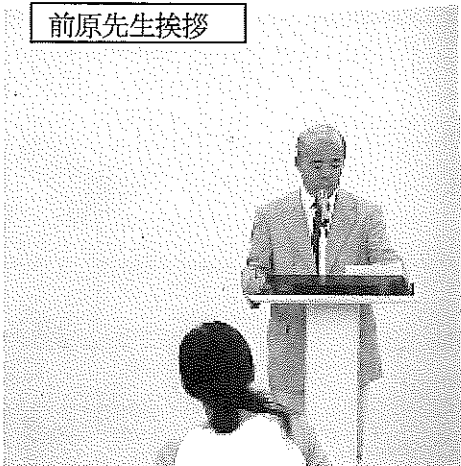


# 11・10東恩納講演会 250名の参加で成功！！

「ジュゴンの海に米軍基地はいらない！～辺野古・大浦湾の豊かな自然を守ろう～」

□日本福祉大学 大学祭1日目の平和講演会

前原先生挨拶



東恩納琢磨氏代表  
ジュゴンの海に米軍基地はいらない！  
～辺野古・大浦湾の豊かな自然を守ろう～  
主催 日本福祉大学九条の会

日本福祉大学九条の会では、昨年の大学祭では、全国九条の会の小森さん、今年の春は、高遠さんと充実した講演会を開催し、多くの参加者に日本福祉大学九条の会ならではの問題提起をすることができたと思っています。

そして、今年は、ちょうど話題を集めている沖縄からの報告ということで、120教室には、大学生、高校生、教職員、父母、地域の人たちがたくさん集まり、東恩納さんの講演を熱心に聞いてくれました。

アトラクションも、今年は、日本福祉大学の「夢人党」が参加してくれ、和太鼓の演奏、生徒フェスの群舞とあわせて、すばらしい見応えのある内容でした。各団体の協力に本当に感謝をしています。

来年の大学祭でも、さらにたくさんの学生、地域の人たちの多彩な交流の場を作りたいと思います。

東恩納琢磨氏の講演

## <講演会感想①> 高校生

“沖縄”と聞くと、戦争のイメージがすごく強すぎて、環境のことまで考えたことはなかった。むしろ、沖縄は海がキレイな印象がありました。DVDのじゅごんの報道も、テレビで見て知ってはいたけど、全然深くは考えなかったし、正直、まったく興味がなかった。(ごめんなさい)。でも、私は、最近の沖縄の国に対する取り組みに、すごく励まされています。(9月29日の11万人沖縄県民大会etc...)。私は普段、公立高校、私立高校の授業料の差(公私格差)をなくすために活動しています。11月3日には、公私格差に反対する、中高生、父母、教師、市民で1万人のパレードを行いました。その成功までの道のりは本当に苦しかったです。そんな中での沖縄県民大会の“国民が国を動かした！”という事実は、私だけではなく、今の日本の状況に、なにかしらの行動を起こしている人々にとって、本当に背中を押される出来事だったと思います。国民の思いは、訴えれば、熱く取り組めば必ず届くと思います。どんなに難しいことでも、私は出来ると思っています。国からの良いリアクションを求めて、今、自分たちはアクションを起こすべき。応援しています。頑張ってください。



講演会後の交流会

# 国会では、防衛費をめぐる政官民の癒着が問題に！

## ～参院委喚問で守屋前次官証言～

### 今こそ、平和を考える！！

#### □講演会感想② 大学生

東恩納さんがおっしゃっていた『伝えることの大切さ』という言葉に感銘を受けました。私は、エイズ活動、政治活動、と高校時代から進めてきましたが、なんだかその時は一生懸命なのですが、“伝えること”という重要な活動がぬけてしまっていたような気がします。これだけ、今、世界につながるツールを私たち若者は持っているのに、私を含め、周囲は何にも活用できていないままでいたことが恥ずかしい。

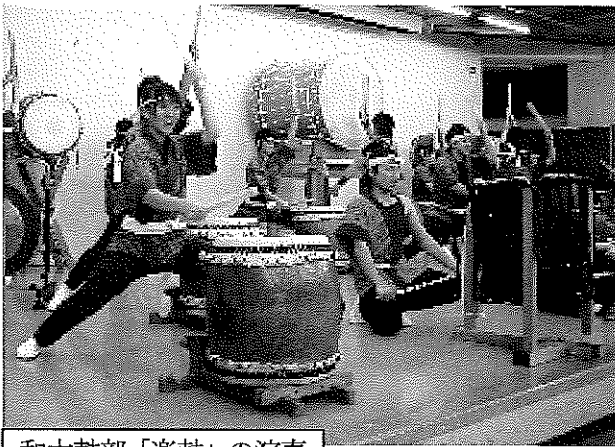
あと、日本の隠蔽について聞いたら、世界に目を向けるだけでなく、日本の矛盾についても、長いスパンでそれと戦っていくことが私たちにできることなのではないかと思いました。日本というのは、言うだけ言っても行動しない国。だからこそ、下にいる私たちが体当たりだとしても、諦めないで、行動することが日本を変える一つの自己表現となるでしょう。

#### □講演会感想③ 大学生

米軍基地と沖縄の事はニュースなどでたびたび見てきました。私も昔、沖縄に住んでいたこともあり、騒音被害の事は知っています。本当に夜までうるさく、ひどいものでした。小学校の窓も全て防音ガラスになっていました。ジュゴンに対しても米軍基地を移設することによって危機的状況になります。ましてや、憲法9条を立てている日本にとってあきらかに矛盾しています。政府はそこをしっかりと考えているのか疑問です。東恩納さんの話、現状を聞き、とても勉強になりました。ジュゴン、海を守るため、沖縄の住民を守るためにがんばって欲しいです。

### アトラクションも大成功！！

☆「楽鼓」と「夢人党」のファンもたくさん見に来ていました。高校生フェスの群舞も高校生の元気さをしっかりみせてくれました。



和太鼓部「楽鼓」の演奏



「夢人党」の踊り



高校生フェスティバル「群舞」